

炭 竈 ふく代 議員



## 「早寝早起朝ごはん」 運動の推進を

質 炭竈議員

子どもの家庭における食事や睡眠などの基本的な生活習慣の乱れは、学習意欲や体力・気力に大きな影響を及ぼしていることから、特に食生活に関して、平成17

年7月に食育基本法が施行され、食育の重要性が一段と高まっています。

文部科学省では、18年度から「子どもの生活リズム向上プロジェクト」の対策費として約1億3000万

円の予算を確保し、19年度は3億100万円の予算要求をしています。

そして、この運動の具体的な推進母体として、本年4月、各界の個人や団体で組織する「早寝早起朝ごはん」全国協議会が設立されました。

このような背景から、小中学生を持つ親と教育に携わる関係者に、食生活等の重要性を知っていただくために、次の点について質問します。

- (1) 子どもの就寝時間や、朝食を食べない小中学生の実態調査はしていますか。
- (2) これらの運動はどのように推進していますか。その他に生活習慣改善の具体的な対策はありますか。

### 家庭における取り組みの推進を図る

答 池田教育長

(1) 各小中学校では、栄養教諭・栄養士・養護教諭が

中心となって、朝ごはんを食べているか、睡眠を十分取っているか、就寝時間はどうなっているかを調査し指導しています。

その結果は、保健だよりや給食だよりで保護者に知らせ、規則正しい生活や睡眠、バランスの良い食事の摂取による健康的な体づくりの啓発を図っています。

(2) 地域・学校・家庭が一体となった「早寝早起朝ごはん」運動が全国的に展開されており、当市ではPTA懇談会等で、早寝早起きなどの生活リズムや栄養バランスを配慮した食事について保護者に協力を呼び掛けるなど、家庭における取り組みの推進を図っています。

また、各小中学校で1年生の保護者を中心に給食試食会等を実施するとともに、十四山中学校では祖父母を招待した昼食会を実施するなど、海部地区でも自慢できるほど一生懸命に取り組んでいます。



▲親子試食会〈弥生小学校〉